

回復期リハビリテーション病棟とは？

脳血管疾患や大腿骨骨折などを発症した患者さんを対象にして、日常生活能力の向上と家庭復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病棟です。

医師・看護師・介護福祉士・看護助手・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士・管理栄養士などの他職種が協働してサポートを行っています。

患者さんの「歩きたい」「家に帰りたい」などのご希望を確認し、目標を共有しながらリハビリテーションを実施しています。

対象疾患は？

厚生労働省の規定により、対象疾患と入院期間が決められています。

	入院できる期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、 くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、 急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、 腕神経叢損傷等の発症又は手術後、 義肢装具訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、 重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位損傷	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により 廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

※患者さんの病状、退院後の環境等を考慮し、リハビリテーションの目標を立て、その目標を達成するまでの期間が入院期間となります。

入院生活について

回復期リハビリテーション病棟に入院されている患者さんは、毎日休みなくリハビリテーションを受けることができます。実際の生活場面（トイレやお風呂等）でのリハビリテーションを実施したり、屋外の環境での歩行練習、掃除や洗濯、調理等の家事動作の練習も実施しています。

また、病棟での体操やレクリエーションを通して、身体を動かす機会を作っています。

退院へ向けたサポートについて

入院中から担当のケアマネジャーと連携し、退院後の環境、福祉用具、サービス等の調整を行っています。

また、患者さんの必要に応じて、スタッフが自宅へ伺い、環境面の確認、動作の確認等を行います。